科目名		看護教育論	
科目責任者 中村 恵美		(広域・発達看護学 准教授)	
開講時期： 1年次後学期	単位数： 2 単位	時間数：	90分× 15 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>看護教育や人材育成の分野において、系統的な学習支援活動を実践するために必要な基礎的知識を修得する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護学教育・人材育成に関連する学習理論をもとに、自身の教育実践への応用可能性を検討できる 2) 看護教育制度の成り立ちを理解し、看護学教育の現状と課題を考えることができる 3) 看護学教育課程の編成とマネジメントの方法を理解できる 4) 看護基礎教育/継続教育における授業/研修設計を方法が理解できる 5) 看護教育学・人材育成に関する研究手法を理解し、自身の教育実践における研究的課題を見出すことができる 6) これまでの教育実践を省察し、看護学教育/人材育成実践者としての今後の課題を明確にできる 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容 60%、討議への参加度 40%		
● 参考文献	<p>課題図書① J. Dewey 著/市村尚久(訳): 経験と学習. 講談社学術文庫</p> <p>課題図書② J. Lave & E. Wenger 著/佐伯胖(訳): 状況に埋め込まれた学習-正統的周辺参加. 産業図書</p> <p>使用テキスト① 杉森みど里, 舟島なをみ(編): 看護教育学. 医学書院</p> <p>使用テキスト② 舟島なをみ(監): 看護学教育における授業展開. 医学書院</p> <p>使用テキスト③ 佐藤みつこ, 他: 看護教育における授業設計. 医学書院</p> <p>使用テキスト④ 舟島なをみ(監): 院内教育プログラムの立案・実施・評価. 医学書院</p> <p>※ 課題図書①以外のテキストは貸出可能です</p> <p>その他の参考図書は適宜紹介します</p>		

● 授業計画

回	項目	内容	担当教員
1	ガイダンス I. 看護教育学とは	ガイダンス 1. 看護教育学とは 2. 看護学教育を担う者の役割と求められる資質 3. 看護学教育における倫理	中村
2 3 4 5 6	II. 看護学教育・人材育成に関する学習理論	2. 心理学に基づく主な学習理論 3. 経験主義に基づく学習理論 4. 成人教育に関する主な理論 5. 組織学習に関する主な理論 6. 構成主義/社会的構成主義に基づく学習論 【演習 I-1】学習理論の批判的検討 ・課題図書①「経験と教育」(J. Dewey) 【演習 II-2】学習理論の応用可能性の検討① ・成人教育学に関する理論を自由に選択 【演習 II-3】学習理論の応用可能性の検討② ・課題図書②「状況に埋め込まれた学習; 正統的周辺参加」(J. Lave & E. Wenger)	中村
7	III. 看護教育制度	1. 看護教育制度の成り立ち 2. 看護基礎教育の基盤となる法と関係法規 3. 看護教育制度の沿革 4. 看護学教育の質保障	中村
8 9	IV. 看護学教育課程の編成とマネジメント	1. 教育課程編成の基本 2. カリキュラム編成のながれ 【演習 IV】看護大学の設置とカリキュラム編成の実際	中村
10 11 12 13	IV. 看護基礎教育・看護継続教育における授業/研修設計	1. 授業・研修設計の基本 2. 学習(学修)目標の設定 3. 学習(学修)評価と教育効果測定 4. 授業方略と学習活動 5. 科目編成・研修プログラム作成のながれ 6. 学習指導案・研修計画書の作成のながれ 【演習 V-1】科目構築/研修プログラム作成 【演習 V-2】学習指導案/研修計画案作成	中村
14	V. 看護教育/人材育成領域における研究	1. 心理・教育領域研究における準実験デザイン 【演習 VI】看護教育学・人材育成に関連した論文のクリティーク	中村
15	VI. 看護教育/人材育成実践者としての省察と今後の課題	1. 看護卒後教育と看護継続教育 2. 職業的アイデンティティとキャリア・マネジメント 3. 生涯学習と自己主導型学習 4. 省察的実践: クリティカルシンキングとリフレクション 【演習 VII】看護学教育/人材育成実践者としての省察と今後の課題	中村

* 演習の内容や方法は相談の上で決定します